

## 平成 22 年度集計結果の概要

### (1) 収入の状況

平成 22 年度の民間非営利団体の収入は、全団体合計では 35 兆 9, 273 億円で前年度比 9. 5% 増となった。

主な収入項目別にみると、移転的収入(寄付金や会費、補助金等の収入)が 30 兆 2, 180 億円で前年度比 10. 0%増、事業収入(博物館や美術館の入場料収入、宗教団体への御布施・賽銭、バザーの売上等の収入)は 5 兆 1, 463 億円で同 7. 0%増となっている。

これを対家計サービスと対事業所サービスの事業形態別にみると、対家計サービスの収入は 34 兆 1, 659 億円で前年度比 10. 1%増となり、対事業所サービスの収入は 1 兆 7, 614 億円で同 0. 5%減となった。

### (2) 経費の状況

経費は全団体合計では 35 兆 5, 307 億円で前年度比 8. 3%増となった。

主な経費項目別にみると、他団体・個人への給付や負担金、会費などの支出である移転的支出は 22 兆 3, 509 億円で同 6. 6%増、仕入原価は 8, 422 億円で同 2. 5%減、人件費は 6 兆 6, 952 億円で同 12. 9%増となった。

事業形態別にみると、対家計サービスの経費は 33 兆 7, 523 億円で前年度比 8. 5%増となり、対事業所サービスは 1 兆 7, 784 億円で同 5. 1%増となった。

### (3) 投資支出の状況

対家計サービスの事業所分のみの調査で、平成 22 年度、投資支出は 3, 997 億円となった。

### (4) 収入および経費の構成

#### ① 収入の構成

民間非営利団体の収入構造を総収入額に対する項目別構成比でみると、全団体では移転的収入が 84. 1%を占め、次いで事業収入が 14. 3%となっている。

これを事業形態別に分けると、その構造には大きな違いがみられる。対家計サービスは移転的収入 85. 2%、事業収入 13. 3%となっており、移転的収入が大半を占めている。これに対し、対事業所サービスは移転的収入 62. 2%、事業収入 35. 1%と、総収入に占める事業収入のウェイトが比較的高くなっているのが特徴である。

#### ② 経費の構成

経費の構造を総支出額に対する項目別構成比でみると、全団体では移転的支出 62. 9%、人件費 18. 8%、仕入原価 2. 4%となっている。

これを事業形態別に分けると、対家計サービスは移転的支出が 65. 7%を占め、次いで人件費 18. 3%、仕入原価 1. 8%となっている。これに対し対事業所サービスは移転的支出 9. 2%、人件費 30. 1%、仕入原価 14. 1%となっている。

このように対家計サービスでは移転的支出のウェイトが極めて高いのに対し、対事業所サービスは対家計サービスに比べ仕入原価等の項目のウェイトが高いのが特徴である。

(5) 資産・負債等の状況

対家計サービスの事業所分のみ調査で、平成 22 年度末、資産、負債等はそれぞれ 85 兆 629 億円となった。